

● **NTTデータ**

進化を続ける地図情報コンテンツ 配信プラットフォーム「MaDoRE」

拡大する MaDoRE の活用領域

地図情報コンテンツ配信プラットフォーム「MaDoRE」の活用領域が拡大している。MaDoREは、NTTデータの位置情報サービスBUが提供するASP・SaaS型の地図、施設データ、マーケティングデータ等を配信するプラットフォームだ。全国の表札を保持する住宅地図・道路地図、路線価等の地価データ、その他位置情報コンテンツを、初期導入コストをそれほどかけずにワンストップで利用できるほか、必要に応じて利用者のニーズに合わせたシステムの構築も支援するのが特長である。

企画段階から一貫してMaDoREの事業展開に注力している位置情報BU地図情報グループの遠藤由則グループリーダーは、「様々な地図関連情報を取り揃え配信するプラットフォームをMaDoRE1.0とするならば、現在は各種ベンダー様とも提携しながらお客様の業務を支援するアプリケーションレイヤの拡充・強化に努めるとともに、プラットフォーム基盤についても仮想化やSOA(サービス指向アーキテクチャ)機能などを実装したいわばMaDoRE2.0を目指している段階です」と語る。

実際、様々な顧客の業務を支援するアプリケーションの拡充とともに、



図1 MaDoREの活用領域

MaDoREの導入が拡大する兆しが見え始めている。主な活用領域を図1に示すが、例えば施設、物件管理の分野では、地図上で物件を指定し属性情報を登録・管理する機能や登録情報の一覧表示機能を利用し、施設や物件管理業務の効率アップやコスト削減に役立つほか、営業支援の分野では携帯電話を活用した外出先の営業担当者への情報提供支援機能や職場と外出先との情報共有による連携強化支援機能によって、営業効率の向上と売上拡大に役立てることができる。さらに、動態管理分野における配車管理業務の効率化や、CRMとの連携機能を活用して過去の売上データを分析し、地域特性を地図上に表示させて売上拡大予測を行うなどマーケティング分野での活用もあげられる。カラーアプリが拡大することで、今度MaDoREの導入が一段と加速することが期待される。



(株)NTTデータ
ビジネスソリューション事業本部
位置情報サービスビジネスユニット
課長代理
遠藤 由則氏

業務領域の拡大と真のSaaS化を 実現するMaDoRE 2.0を指向

MaDoREはセキュアなデータセンタを基盤にしたGISプラットフォームから、企業の基幹系への業務領域の拡大に加え、プラットフォーム基盤も含めた進化を続けている。

「冒頭お話したように、私どもはGISからSFA/CRM、さらにはお客様の基幹業務を支援するようなサービスへの進化を続けています。将来的にはプラットフォーム基盤の進化と合わせ、真のSaaS化を実現したMaDoRE 2.0の完成を目指しています。」(遠藤由則グループリーダー)

お問い合わせ先

(株)NTTデータ
ビジネスソリューション事業本部
位置情報サービスビジネスユニット
TEL : 03-3251-9374
E-mail : madore@gis.bds.nttdata.co.jp
URL : http://madore.glbs.jp/